

習志野市ALT シアラ・デューターさん

「英語は世界への入口」を伝えていきたい

この8月、姉妹都市タスカルーサから新しいALT（アシスタント・ラングイッチ・ティーチャー 外国語指導助手）が派遣されてきました。シアラ・デューターさん。アラバマ大学でファッション・ビジネスを学んだ、笑顔の素敵なスラリとした女性です。9月から習志野第五中学校で英語を教えています。

NIAのチャットに参加されているデューターさんに話をうかがいました。

●習志野の第一印象は？

人々がとても親切でやさしい、と感じました。東京にも出かけましたが、人々はもう少し距離を持って接している感じがしました。習志野の人々は、アラバマの人たちと同じくらいあたたかいと思います（笑）。

●日本の生徒の印象はどうですか？

とてもすばらしいです！ 英語を学ぶことが大変好きなようです。熱心ですね、目をキラキラさせて一生懸命に聞いてくれます。

●それはもしかして、きれいなアメリカ人の先生だからでは？

いや～、それはわかりません（笑）。でも、このあいだ、生徒の一人がナラシドくん（習志野のキャラクター）のイラストを描いて、私にくれました。（注：と言って、その絵を見せてくださいました）。とても丁寧に描かれて

いるでしょう？ 心がこもっていて、嬉しいですね。

●早くも人気先生になられたご様子ですが、今後の抱負は？

英語は世界へとつながる

ドア。ドアを開けて世界とつながり、自分の世界をより広げられるように、生徒たちには英語の勉強を励まし、助けていきたいです。将来、たとえば大学に進学する時だけでなく、旅行に行った時などにも、英語は世界とつながっているんだなあ、役に立つなあ、と実感する時があるかもしれません。英語は世界への入口になる、ということを伝えていきたいです。

●プライベートでは、趣味はなんですか？

ジョギングです。あと、ファッションにも興味があります。このあいだ原宿に行きましたが、評判通り、みんなとてもキュートでした（笑）。

（インタビュー 佐藤洋子／広報青年部会）



シアラ・デューターさん